

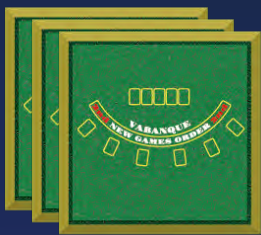


GAME DESIGN :
 Leo Colovini & Bruno Faidutti
 ILLUSTRATION : U#
 GRAPHIC DESIGN : TANSAN

12+ 30min. 3-6

内容物

テーブルタイル 12枚



プレイヤーカード 18枚(6色各3枚)



x2



トラップ



ダミー



所持金ボード 6枚(6色各1枚)



紙幣 1束



プレイヤーポーン 6個(6色各1個)



チップマーカー 60個



24個

18個

12個

6個

手番順カード 6枚



説明書 1部

概要

一夜の内に途方も無い大金が集まるカジノに、腕利きのギャンブラー達が集合しています。チャンスのあるテーブルを見つけ、可能な限りのお金を稼ぎだすのです。ただし、ライバルたちは皆、イカサマであなたの稼ぎを根こそぎ横取りしようと狙っています — 壮絶なだまし合いを勝ち抜くのは、はたして誰でしょうか？

プレイヤーはギャンブラーとなり、4回の大勝負に臨みます。まずは複数あるテーブルタイルにチップを置いていき、各テーブルで争われる収益の基本の額を決めます。次に手持ちの3枚のカードを伏せてテーブルに付け、「仕掛け」をします。テーブルの収益を倍増させる「×2」、テーブルに来たライバルの収益を横取りする「トラップ」、そしてカード自体には何の効果も無い「ダミー」です。

全員が3枚のカード配置を終えたら、自分のコマを時計回りに動かし、着席するテーブルを選びます。全員がテーブルを決めたら、カードを公開します。他のプレイヤーが「トラップ」を置いていないテーブルに着いていたら、そのテーブルの収益を手にできます。また、自分が「トラップ」を置いたテーブルに他のプレイヤーを上手く誘導できれば、そのテーブルの収益を横取りできます！

ラウンドを追うごとに、テーブルの収益は上がっていきます。4ラウンドの後に、最も多くのお金を稼いだプレイヤーがこのゲームの勝者です。

準備

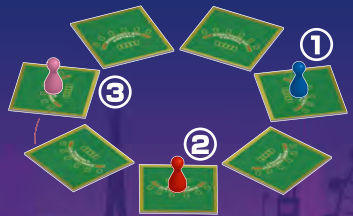
表に示した枚数のテーブルタイルを取り、中央に円形に並べます。残ったタイルは箱に戻します。

参加人数	3	4	5	6
タイルの数	7	9	10	12

紙幣は額面ごとに分け、ストックとします。

プレイヤーは自分の担当する色を決め、その色のポーン1個、ボード1枚、カード3枚を受け取ります。カードは他のプレイヤーに内容が見えないようにします。加えて、各自「5」のチップを4個、「10」チップを3個、「20」を2個、「50」を1個受け取ります。残ったものはゲームに使わないので箱に戻します。

各自、手番順カードを無作為に1枚取ります。引いたカードの数字が最も若い人がスタートプレイヤーとなります。数字の若い順にスタートプレイヤーから時計回りに座ります。スタートプレイヤーは、好きなタイル上に自分のポーンを置きます。左隣のプレイヤーは、このポーンの「時計回りに次の次の」タイル上に自分のポーンを置きます。同様に、全員が1つおきにポーンを置き、準備完了です。



ゲームの流れ

ゲームは4ラウンドにわたって行われます。各ラウンドは5つの手順で進行します。



手順1 チップの配置

スタートプレイヤーが任意のテーブルタイルを選んでチップを1個置きます。以降、時計回り順にチップを配置していきます。

- ・1ラウンド目には各自「5」チップ4個を置きます(4周します)。
 - ・2ラウンド目には各自「10」チップ3個を置きます(3周)。
 - ・3ラウンド目には各自「20」チップ2個を置きます(2周)。
 - ・4ラウンド目には各自「50」チップ1個を置きます(1周)。
- ※各タイルに置けるチップには上限はありません。

タイルに置かれたチップの値の合計が、そのタイルからもたらされる収益の基本の値となります。一度置かれたチップは次ラウンド以降もそのまま残るため、後のラウンドほど収益の額は上がっていきます。



手順2 カードの配置

スタートプレイヤーから時計回り順に、手持ちのカードを1枚選んで伏せ、いずれかのタイルの外側に付けていきます。これを3周行い、全員がカード3枚をいずれかのタイルに付けます。タイルに付けられるカードの枚数に上限はありません。



カードの効果

それぞれのカードは、タイルの収益に影響を与えます。どのカードをどのタイルにどのタイミングで置か、そして他のプレイヤーの出したカードがどういった思惑によるかを考えることが重要です。



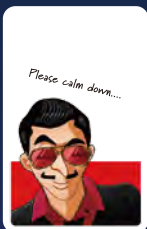
「×2」

このカードはそのテーブルの収益を2倍にします。2枚ある場合は3倍、3枚ならば4倍、……となります。



「トラップ」

このカードを置いたプレイヤーは、**そのテーブルで他のプレイヤーが得るはずだった収益を横取りします。**

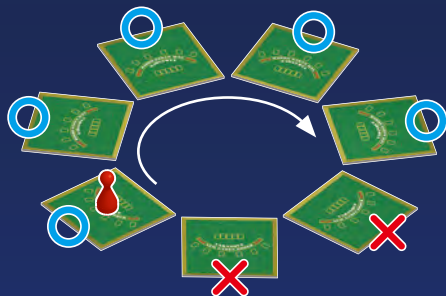


「ダミー」

このカード自体には特に効果はありません。
他のプレイヤーを翻弄するためのカードです。

手順3 ポーンの移動

スタートプレイヤーから時計回り順に、**全員1回だけ、自分のポーンを時計回りに4歩まで移動させます。**そのままタイルに留まっても構いません。1つのタイルに複数のポーンがあっても構いません。なるべく収益が高く、なおかつ他のプレイヤーの「トラップ」が置かれていなさそうなタイルを選びましょう。



手順4 ショーダウン

ポーンが置かれているテーブルタイルについてのみ、付けられているカードを全て公開します。それらのテーブルについて収益を計算し、該当するプレイヤーに支払います。

1. テーブルの収益額の決定

テーブルがもたらす収益は、置かれているチップの合計額の1000倍です。ただし、めくられたカードに「×2」がある場合、1枚ごとに収益の倍率が上がります。



このテーブルの収益額は
 $(5+10) \times 1000 \times 3 = 45000$

2. ポーンの持ち主への支払い

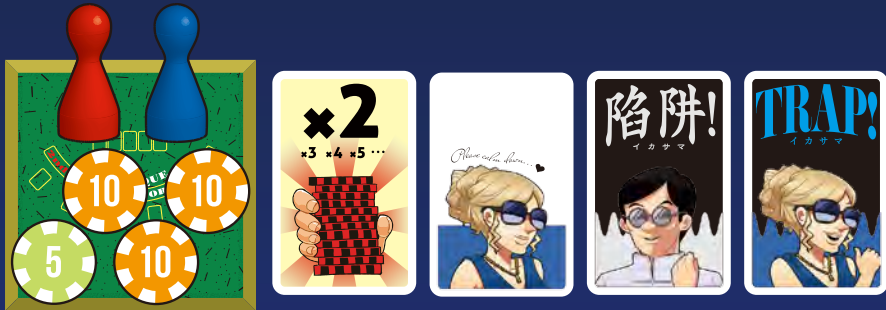
テーブルにポーンを置いているプレイヤーは、そのテーブルの収益額に等しい紙幣をストックから受け取ります。ただし、そのテーブルに他のプレイヤーの「トラップ」が無いことが条件です。罠にはまったプレイヤーは、支払いを受けられません！

※1つのテーブルに複数人がポーンを置いている場合も、収益は頭割りにしません。支払いを受けられる該当者全員が、**収益を満額受け取ります。**
受け取った紙幣は自分のボードの上に置きます。各自の所持金は常に公開です。

3. イカサマによる横取り

「トラップ」を置いたタイルに他のプレイヤーのポーンがある場合、「トラップ」の持ち主は、他プレイヤーのポーン1個ごとに、そのタイルの収益額に等しい紙幣をストックから受け取り、自分のボードに置きます。

※1つのタイルに複数人が「トラップ」を置いている場合も、収益は分割しません。
全員が個別に「収益額×他プレイヤーのポーン数」の支払いを受けます。
このテーブルの収益は、イカサマ師たちの手に渡るのです。



このテーブルからの支払いは以下の通りです。

まず収益額は $(5+10+10+10) \times 1000 \times 2 = 70000$ です。

ポーンを置いた赤と青のプレイヤーは、他のプレイヤーの「トラップ」のため、ポーンによる収益を受けられません。

(白の「トラップ」さえ無ければ、青はポーンの収益も受け取れたのです)

青の「トラップ」により、青のプレイヤーは70000をストックから受け取ります。

(赤のポーンが置かれているためです)

白は「トラップ」により140000をストックから受け取ります。

(赤と青、計2つのポーンが置かれているためです)

手順 5 手番順の更新

各自、現在の所持金の総額を宣言します。次のラウンドの手番順は、所持金の多い順となります。**手番順が時計回り順になるよう、席替えをします。**複数人の所持金と同額だった場合、前のラウンドと順番が逆になりますようにします。

※最も裕福なプレイヤーのみ同じ席に留まり、それ以外のプレイヤーは、所持金順になるよう座り直します。



自分のボードを持って移動しましょう。

※席替えができないような場合には、手番順カードを各自の前に置くことで手番順を示せます。混乱を避けるため、なるべくは席替えを行ってください。

次のラウンドを始める前に、自分のカード3枚を手元に回収します。**テーブル上のポーンとチップは全てそのままにし、**次のラウンドを始めます。

ゲームの終了

第4ラウンドのショーダウンを完了したら、ゲーム終了です。最も所持金の多かったプレイヤーの勝ちです。トップが同額の場合は勝利を分かち合います。

製造・販売

合同会社ニューゲームズオーダー

東京都立川市柴崎町 3-10-6

イチカフビル 2F

www.newgamesorder.jp

©2016 by studiogiocchi SAS.